



9月9日は救急の日

救急の日は、「9（きゅう）9（きゅう）」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的として、1982年に厚生労働省によって定められました。

当院でも、救急外来で、マダニに咬まれる、蜂に刺される、熱中症の疑いがあるなどで受診される患者さんが多くいました。それぞれの対応についてご紹介します。

マダニに咬まれた場合

1. マダニをピンセットや手で無理にとろうとしない。
マダニの頭が皮膚の中に残り傷口が腫れたり、マダニを潰してしまうと、マダニの体液や病原体がヒトの体の中に入り込む恐れがあります。
2. 近くの皮膚科などの医療機関で処置してもらう。
微生物部ではマダニの感染症検査などを実施しています。
3. 咬まれたあと数週間程度は体調の変化に注意が必要です。
発熱などの症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けてください。

蜂に刺された場合

1. その場から身を低くして離れる。
2. 傷口を強く絞りながら水でよく洗う。
3. 傷口をよく洗う。



<次の場合は直ちに病院で治療を受けましょう。>

- 発疹、吐き気、呼吸困難などの症状が出た場合は救急を要します。
- 以前に蜂に刺され、発疹や吐き気などの症状が出た方が再度、刺された場合はショック症状を起こす可能性があるため緊急を要します。
- たくさん刺されてしまった方

熱中症の疑いがある場合

1. 涼しい場所へ移動する。意識がはっきりしない場合は救急車を呼ぶ。
2. 体を冷却する。首や両脇、鼠径部などの太い血管を冷やす。
3. 塩分を同時に補給できる経口補水液を飲む。

ただし、意識がはっきりしない場合や嘔吐のあるときは無理な水分摂取は避けましょう。

9月21日は世界アルツハイマーデー

国際アルツハイマー病協会（ADI）が認知症への理解をすすめ、本人や家族への施策の充実を目的として、1994年に「世界アルツハイマーデー」を制定しました。

また、同協会が9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界各国で啓発活動を行っています。

白鳥病院 Facebook 絶賛更新中！



あれこれ院内の情報を Facebook で発信しています。

楽しい内容がもりだくさん♪是非一度のぞいてみてくださいね♪

<https://www.facebook.com/shirotoribyoin/>

ぜひ、「いいね」をよろしくお願いします！

- ◆ 健康教室（すこやか会）は、今年度の開催は中止となります。
- ◆ しっとこ教室（生活習慣病教室）は、上半期の開催は中止です。下半期については、開催の日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

